

アジア・ヘルスケア株式ファンド

運用報告書（全体版）

第22期（決算日 2025年12月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「アジア・ヘルスケア株式ファンド」は、2025年12月22日に第22期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年1月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、アジア（日本を除きます。）各国の金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<642681>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債券 組入比	投資信託 組入比	純資産 総額	
		税 分	込 配	み 金				期 騰
	円		円		%	%	百万円	
18期(2023年12月21日)	9,216		0		△ 0.1	—	98.9	6,252
19期(2024年6月21日)	9,293		0		0.8	0.1	98.8	6,000
20期(2024年12月23日)	9,926		0		6.8	0.1	98.9	5,275
21期(2025年6月23日)	10,467		0		5.5	0.1	98.9	5,221
22期(2025年12月22日)	12,460		0		19.0	0.1	98.6	5,055

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債券 組入比	投資信託 組入比	託 券 率
		騰	落 率			
(期首)	円		%		%	%
2025年6月23日	10,467		—	0.1	98.9	
6月末	10,528		0.6	0.1	98.5	
7月末	12,209		16.6	0.1	98.8	
8月末	11,641		11.2	0.1	98.8	
9月末	12,063		15.2	0.1	98.6	
10月末	12,295		17.5	0.1	98.8	
11月末	12,698		21.3	0.1	98.8	
(期末)						
2025年12月22日	12,460		19.0	0.1	98.6	

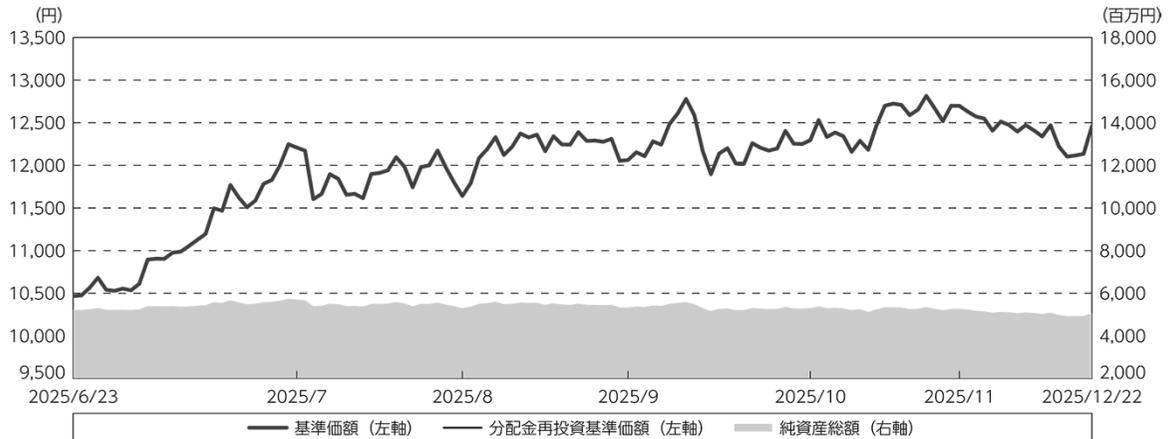
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年6月24日～2025年12月22日)

期中の基準価額等の推移



期 首：10,467円

期 末：12,460円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 19.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年6月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中国のバイオ医薬品業界で「ディープシーク・モーメント(中国発のイノベーションが世界の産業構造などを覆す瞬間)」が起き、株価が上昇基調となり、中国のヘルスケア市場のパフォーマンスがプラスに寄与したこと。
- ・韓国の銘柄選択が奏功してプラスに寄与し、アジアのヘルスケア市場全体を上回る好調なりターンを達成したこと。

<値下がり要因>

- ・中国市場で、年初からの大幅な株価上昇を受けて利益確定売りが優勢となったこと（2025年10月）。

投資環境

（アジア株式市況）

2025年後半のアジア株式市場は、関税の不透明感や金融緩和、人工知能（AI）などが主なテーマとなりました。ボラティリティ（変動性）が高まるなかでも、景気刺激策や構造的な成長ドライバーが追い風となり、域内の株式市場は力強い上昇を見せました。ヘルスケアセクターでは、韓国の力強さがけん引役となり、非常に良好なパフォーマンスとなりました。

夏場は、米国の貿易をめぐる緊張が緩和され、中国政府が内需を優先する取り組みを進めるなか、市場は関税引き上げによってボラティリティが高まった局面から持ち直しました。また、AIの急速な進展（特に中国のDeepSeek）を見せると、テクノロジー分野に対する楽観的な見方が再び広がりました。秋は、米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを再開したことやNvidiaがOpenAIに投資したことなどを受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まりました。米中間の緊張緩和やFRBによる追加金融緩和を受けて市場はその後上昇しましたが、年末にかけて追加利下げ実施の有無が議論されるなか、テクノロジー・バブルに対する懸念が広がりました。

中国のヘルスケアセクターは、グローバルな大手製薬企業との提携を通じて検証されつつある研究開発パイプラインのイノベーションがけん引役となり、卓越したパフォーマンスを見せました。しかし、10月以降に投資家が大幅な利益確定売りを実施すると、上昇分の一部を吐き出す形となりました。また、韓国市場は、企業業績が市場予想を上回ったことやバイオテクノロジー分野の臨床試験やライセンス契約の進展が追い風となり、上昇基調をたどりました。一方、インドのヘルスケアセクターのパフォーマンスは、米国による医薬品関税の不透明感や「最恵国薬価制度」（他の先進国の最も低い価格に合わせる）に対する懸念の影響を受けて、横ばいで推移しました。

（国内短期金利市況）

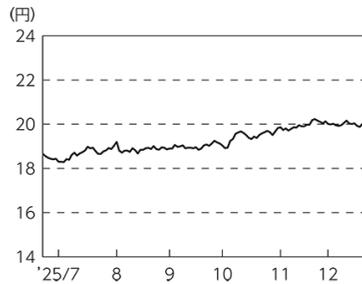
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.39%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.63%近辺で期間末を迎えました。

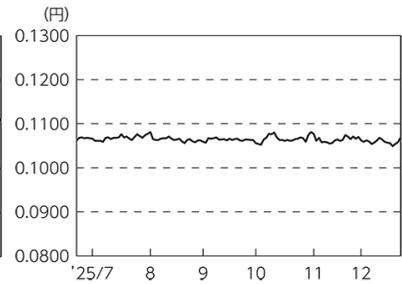
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

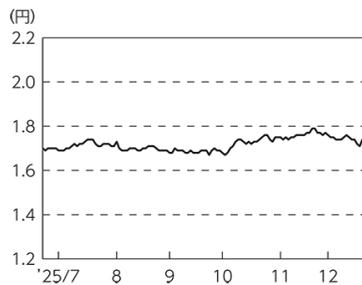
円／香港ドルの推移



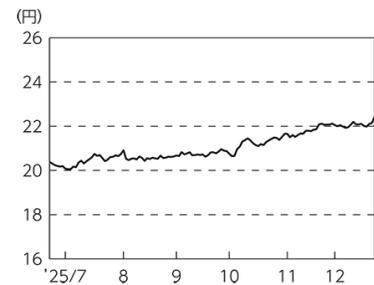
円／韓国ウォンの推移



円／インドルピーの推移



円／香港・オフショア人民元の推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

期間中のアジアのヘルスケアセクターのパフォーマンスは、アジア地域全体には劣後しましたが、当ファンドのパフォーマンスはアジアのヘルスケアセクターを上回りました。

期間中、国・地域別で最もプラスに寄与したのは中国と韓国でした。中国では、バイオテクノロジー企業や製薬会社の銘柄選択が特に奏功しました。当ファンドで保有するバイオ医薬品関連銘柄の60%がアジアのヘルスケアセクターをアウトパフォームし、また当ファンドが組み入れている企業のうち3社が年後半に大手製薬企業とのライセンス契約を発表したことを受け、通年で発表されたアウトライセンス契約件数は合計6件となりました。パフォーマンスに最もプラスに寄与したのは革新的なグローバルバイオ医薬品企業です。注力する4つの治療分野でリーダーシップを確立しており、現在、革新的な医薬品の売上は総売上の80%超を占めています。

韓国市場では、機を見て投資比率を高めたことに加え、優れた銘柄選択を行なったことにより、アジアのヘルスケア市場全体を上回りました。バイオ医薬品大手は、1ヵ月間の取引停止を経て、バイオシミラー事業を持株会社にスピンオフ(分離)しました。また、RNA治療薬を開発する顧客向けにオリゴヌクレオチド(DNA

やRNAの短い配列)を供給する企業の株価は50%超上昇しました。その背景として、NovartisがAlnylamとのライセンス契約の下で開発・製造する動脈硬化性心血管疾患治療薬「レクビオ」が成長を続け、RNA治療の適応が希少疾患から一般的な慢性疾患へと拡大し、初のブロックバスターRNA製剤になるとの期待が広がったことがあります。

その他、韓国では中小型株が良好なパフォーマンスを見せました。肥満治療薬パイプラインを構築中の韓国のバイオテクノロジー企業の株価は、第2相臨床試験の主要な結果が良好となったことを受けて急騰し、その後も米国提携企業のM&A(合併・買収)のニュースを受けて第4四半期にかけて上昇基調となりました。同様に、今年初めに投資した新規上場の有望なメドテック企業は、内視鏡処置中の出血予防分野における臨床試験の成功を発表したことで、投資家からの評価を獲得しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第22期
	2025年6月24日～ 2025年12月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,567

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

トランプ米国大統領の政策を背景に、貿易戦争の緩和期待が一部で高まるなか、アジア株式市場は金融環境の緩和を支援材料としながらも、ボラティリティの高い状態が続きました。停戦や貿易政策をめぐる改善の兆しは見られるものの、見通しは依然として不透明です。

中国の流動性環境は引き続き追い風であり、中国株式にとって明るい兆しとなっています。また、中国証券監督管理委員会は、国有保険会社など長期投資家に対し、国内A株市場への資金配分を促す取り組みを強化しており、国内株式市場への投資拡大を奨励する措置などを発表しました。継続中の関税をめぐる米中間の対立についても、改善へと向かう明るい兆しが見られ、投資家心理を下支えています。

韓国では、好調な企業収益と政府によるバリューアップ・プログラムを背景に、株式市場が年初来で良好なリターンを達成しています。韓国企業は世界的な成長を続けるなかで、魅力的なバリューエーション(価値評価)を提供しています。

インドは短期的に逆風に見舞われているものの、長期的には引き続き魅力的な投資機会があると見ています。政府による経済成長重視の政策や構造改革が、企業収益の回復を下支えする見通しです。

中国ヘルスケア市場の変化としては、2025年12月の初めに商業保険による医薬品カバレッジリストが発表され、国家償還リストに加えて新たなカバレッジが提供されました。これは高額治療薬分野の国内需要を長期的に支える要因となります。

米国バイオセキュア法案に関しては、より緩和された内容で米国議会を通過し、12月後半に採決予定です。バイオセキュア法案の最終的な決着は、中国のCRDMO（医薬品の研究、開発、製造を包括的に受託する組織）セクターに重くのしかかっていた懸念を取り除くこととなります。

より重要なこととして、中国や韓国のバイオ医薬品企業は、革新的なパイプラインを背景に、大手製薬会社とのライセンス契約を拡大しています。今後12ヵ月を見通すと、同セクターに好影響をもたらす可能性のある主なドライバーは2点あると予想しています。1点目は、グローバル製薬企業から導入したパイプラインに関する主要な臨床データの公表です。2点目は、主要なバイオ医薬品企業の研究開発のさらなる加速によって、ライセンスアウト契約が今後より多く見込まれることです。こうしたなか、当ファンドでは4つの主要分野に注目しています。1つ目は、がん治療パイプラインのデータ公表を受けた、二重特異性抗体と抗体薬物複合体の併用などの可能性です。2つ目は、肥満治療のパイプライン開発における、経口剤への展開、長時間作用型注射剤の開発、筋肉量減少の予防などです。3つ目は、RNA療法の進展により、希少疾患から、ニーズが特に満たされていない分野を含む一般的な慢性疾患へと適応が拡大する点です。4つ目は、AIをベースとした創薬の進展です。

過去10年でアジアのヘルスケア市場は大きく拡大し、医薬品中心からバイオテクノロジー、メドテック、ライフサイエンス、AIなど多様なサブ産業へ広がっています。当ファンドでは、こうした構造変化を捉え、長期的な成長機会を積極的に活用していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月 24 日～2025年12月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 69	% 0.576	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(14)	(0.121)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0.439)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.026	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(3)	(0.024)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	72	0.602	
期中の平均基準価額は、11,905円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

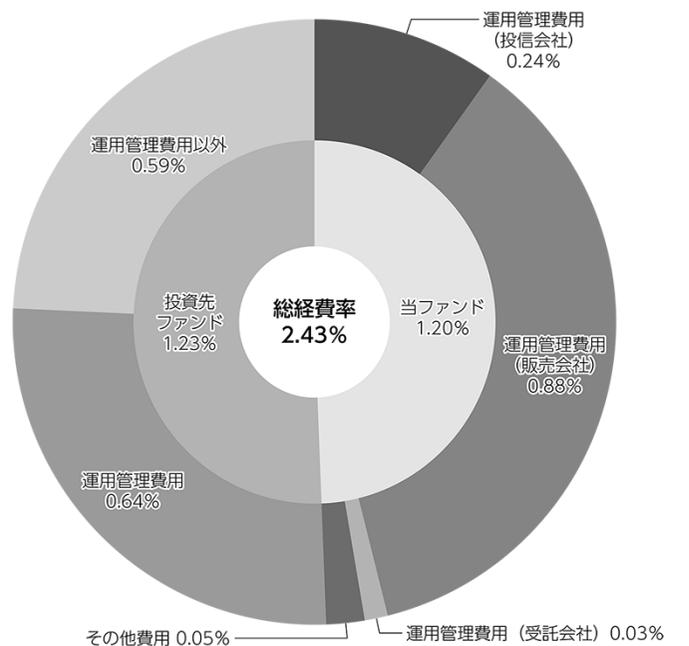
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.43%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	2.43
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.59

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月24日～2025年12月22日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)	千口 —	千円 —	千口 863,181	千円 1,161,925

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月24日～2025年12月22日)

利害関係人との取引状況

<アジア・ヘルスケア株式ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 1,161	百万円 1,161	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年6月24日～2025年12月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年6月24日～2025年12月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年12月22日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド (JPYクラス)		4,404,648	3,541,467	4,981,782	98.6
合	計	4,404,648	3,541,467	4,981,782	98.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		4,751	4,751	4,782

(注) 親投資信託の2025年12月22日現在の受益権総口数は、430,817千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年12月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,981,782	% 97.6
マネー・アカウント・マザーファンド	4,782	0.1
コール・ローン等、その他	119,679	2.3
投資信託財産総額	5,106,243	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,106,243,188
コール・ローン等	94,445,177
投資信託受益証券(評価額)	4,981,782,468
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	4,782,108
未収入金	25,231,528
未収利息	1,907
(B) 負債	51,202,924
未払解約金	17,732,921
未払信託報酬	30,901,122
その他未払費用	2,568,881
(C) 純資産総額(A-B)	5,055,040,264
元本	4,056,960,485
次期繰越損益金	998,079,779
(D) 受益権総口数	4,056,960,485口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,460円

(注) 当ファンドの期首元本額は4,988,139,634円、期中追加設定元本額は76,092,447円、期中一部解約元本額は1,007,271,596円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,2460円です。

○損益の状況 (2025年6月24日～2025年12月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	222,306
受取利息	222,306
(B) 有価証券売買損益	830,495,409
売買益	971,014,464
売買損	△140,519,055
(C) 信託報酬等	△ 32,306,864
(D) 当期損益金(A+B+C)	798,410,851
(E) 前期繰越損益金	132,305,480
(F) 追加信託差損益金	67,363,448
(配当等相当額)	(111,105,207)
(売買損益相当額)	(△ 43,741,759)
(G) 計(D+E+F)	998,079,779
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	998,079,779
追加信託差損益金	67,363,448
(配当等相当額)	(111,105,207)
(売買損益相当額)	(△ 43,741,759)
分配準備積立金	930,716,331

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2025年6月24日～2025年12月22日)は以下の通りです。

項 目	2025年6月24日～ 2025年12月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	217,765円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	249,467,633円
c. 信託約款に定める収益調整金	111,105,207円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	681,030,933円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,041,821,538円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,567円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2025年6月24日から2025年12月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第16条)
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第49条)
 - ③当社の社名変更に伴ない、当ファンドが投資対象とする投資信託証券「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス) 円建受益証券」の名称を「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス) 円建受益証券」に変更いたしました。(付表)

その他の変更について

当ファンドが投資対象とするシンガポール籍円建外国投資信託「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)」につき、2025年9月1日付けにて投資顧問会社である「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」がその社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド」に変更いたしました。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス） ※2025年9月1日付けで「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）」から変更	
	シンガポール籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	日本を除くアジアの医療関連企業の株式（預託証書を含みます。）を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を除くアジアの医療関連株式（預託証書を含みます。）を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合に制限を設けません。 ・一の発行体に対する投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・証券の空売りは行ないません。 	
収益分配	原則として、毎年6月12日と12月12日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。なお、運用会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.65% （国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド ※2025年9月1日付けで「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」から変更	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◆ポートフォリオ明細表

日興ＡＭアジア・ヘルスケア・ファンド

2024年12月31日現在

地域別（第一区分）	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式			
中国			
AIER Eye Hospital Group Company Limited	97,405	239,825	0.52
CanSino Biologics Incorporated	102,800	568,699	1.24
CSPC Innovation Pharmaceutical Company Limited	81,370	402,051	0.87
Hansoh Pharmaceutical Group Company Limited	172,000	521,976	1.13
Innovent Biologics Incorporated	259,000	1,664,790	3.61
JD Health International Incorporated	119,000	587,262	1.28
Jiangsu Hengrui Pharmaceuticals Company Limited	166,317	1,418,559	3.08
Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Company Limited	24,700	1,170,403	2.54
Shenzhen New Industries Biomedical Engineering Company Limited	59,700	785,981	1.70
WuXi AppTec Company Limited – Class A	49,000	501,156	1.09
WuXi AppTec Company Limited – Class H	104,200	1,033,939	2.24
WuXi Biologics Cayman Incorporated	668,500	2,061,601	4.47
中国合計		10,956,242	23.77
香港特別行政区			
China Medical System Holdings Limited	690,000	914,902	1.98
HUTCHMED China Limited	156,500	619,783	1.34
香港特別行政区合計		1,534,685	3.32
インド			
Apollo Hospitals Enterprise Limited	12,398	1,441,446	3.13
Cipla Limited	87,805	2,139,771	4.64
Divi's Laboratories Limited	22,721	2,208,071	4.79
Dr Reddy's Laboratories Limited	68,100	1,504,013	3.26
Entero Healthcare Solutions Limited	20,326	461,263	1.00
Krishna Institute of Medical Sciences Limited	60,773	581,714	1.26
Mankind Pharma Limited	30,128	1,382,816	3.00
Max Healthcare Institute Limited	47,259	848,503	1.84
Piramal Pharma Limited	144,590	610,556	1.33
Rainbow Children's Medicare Limited	23,441	560,042	1.21
Sun Pharmaceutical Industries Limited	141,881	4,272,944	9.27
Torrent Pharmaceuticals Limited	9,589	513,405	1.12
インド合計		16,524,544	35.85
インドネシア			
Kalbe Farma TBK PT	3,611,500	416,313	0.90
Medikaloka Hermina TBK PT	5,763,500	796,283	1.73
インドネシア合計		1,212,596	2.63

地域別（第一区分）（続き）

	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式（続き）			
韓国			
Alteogen Incorporated	2,919	837,196	1.82
Binex Company Limited	30,507	518,479	1.12
Celltrion Incorporated	16,319	2,835,484	6.15
Dongkook Pharmaceutical Company Limited	32,695	500,523	1.09
HK Inno.N Corporation	23,013	764,530	1.66
Samsung Biologics Company Limited	3,997	3,515,060	7.62
ST Pharm Company Limited	8,332	686,410	1.49
Yuhan Corporation	3,700	409,734	0.89
韓国合計		10,067,416	21.84
タイ			
Bangkok Dusit Medical Services Public Company Limited	1,933,400	1,895,317	4.11
Chularat Hospital Public Company Limited	5,474,100	534,437	1.16
タイ合計		2,429,754	5.27
米国			
BeiGene Limited	137,400	2,635,045	5.72
米国合計		2,635,045	5.72
上場株式合計		45,360,282	98.40
非上場株式			
中国			
China Animal Healthcare Limited	1,246,000	-	-
中国合計		-	-
非上場株式合計		-	-
投資ポートフォリオ		45,360,282	98.40
その他純資産		739,119	1.60
受益者に帰属する純資産		46,099,401	100.00

地域別（要約）	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式	
中国	23.77
香港特別行政区	3.32
インド	35.85
インドネシア	2.63
韓国	21.84
タイ	5.27
米国	5.72
上場株式合計	98.40
投資ポートフォリオ その他純資産	98.40 1.60
受益者に帰属する純資産	100.00

業種別（第二区分）	公正価値	受益者に帰属
	シンガポール・ドル	する純資産に 占める割合 %
バイオテクノロジー	8,383,594	18.19
商業サービス	-	-
ヘルスケア - 製品	2,871,286	6.22
ヘルスケア - サービス	10,494,263	22.76
医薬品	23,023,877	49.95
小売	587,262	1.28
ソフトウェア	-	-
投資ポートフォリオ	45,360,282	98.40
その他純資産	739,119	1.60
受益者に帰属する純資産	46,099,401	100.00

◆損益計算書

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2024年12月31日に終了した会計年度

	2024年 シンガポール・ドル
収益	
受取配当	382, 468
現金および現金同等物に係る利息	77, 397
	<u>459, 865</u>
費用	
運用報酬	301, 443
名義書換代理人報酬	2, 772
受託者報酬	14, 077
保管報酬	20, 851
監査報酬	30, 924
評価報酬	18, 769
取引費用	174, 486
その他費用*	85, 707
	<u>649, 029</u>
純利益（損失）	<u>(189, 164)</u>
投資に係る純利益（損失）	
投資に係る純利益（損失）	1, 124, 975
純為替差損	(114, 162)
	<u>1, 010, 813</u>
税引前当期利益（損失）合計	821, 649
所得税	<u>(46, 928)</u>
税引後当期利益（損失）合計	<u><u>774, 721</u></u>

* 残高には本ファンドの監査人のネットワーク・ファームに支払われた非監査関連報酬が含まれるが、2024年度の同報酬額は9, 907シンガポール・ドルであった（2023年度の同報酬額はゼロ）。

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2025年10月14日）
（2024年10月16日～2025年10月14日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<636843>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
12期(2021年10月12日)	円		%		%	百万円
	10,023		△0.0		—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0		—	560
14期(2023年10月12日)	10,018		△0.0		—	458
15期(2024年10月15日)	10,023		0.0		61.8	437
16期(2025年10月14日)	10,057		0.3		60.3	431

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2024年10月15日	円		%		%
	10,023		—		61.8
10月末	10,024		0.0		123.6
11月末	10,025		0.0		123.6
12月末	10,026		0.0		62.0
2025年1月末	10,027		0.0		124.0
2月末	10,030		0.1		62.1
3月末	10,033		0.1		63.0
4月末	10,037		0.1		125.4
5月末	10,040		0.2		61.9
6月末	10,044		0.2		61.7
7月末	10,047		0.2		122.4
8月末	10,051		0.3		61.1
9月末	10,055		0.3		60.2
(期 末) 2025年10月14日	10,057		0.3		60.3

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年10月16日～2025年10月14日)

基準価額の推移

期間の初め10,023円の基準価額は、期間末に10,057円となり、騰落率は+0.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.00%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.43%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

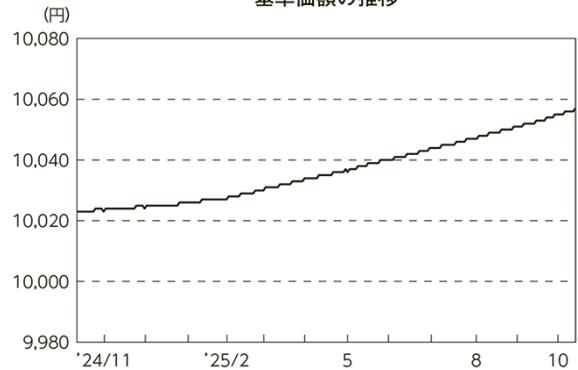
運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2024/10/15	2025/10/14	2024/10/16	2025/10/14
10,023円	10,057円	10,023円	10,057円

○1万口当たりの費用明細

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年10月16日～2025年10月14日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	1,329,265	— (1,340,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年10月14日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
千円	千円	%	%	%	%	%		
国債証券	260,000	259,957	60.3	—	—	—	60.3	
合 計	260,000	259,957	60.3	—	—	—	60.3	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第454回利付国債 (2年)	0.1	260,000	259,957	2025/11/1
合 計		260,000	259,957	

○投資信託財産の構成

(2025年10月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 259,957	% 60.2
コール・ローン等、その他	171,542	39.8
投資信託財産総額	431,499	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年10月14日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産			431,499,255
	コール・ローン等			171,421,447
	公社債(評価額)			259,957,300
	未収利息			54,974
	前払費用			65,534
(B)	負債			162,885
	未払解約金			162,885
(C)	純資産総額(A-B)			431,336,370
	元本			428,906,307
	次期繰越損益金			2,430,063
(D)	受益権総口数			428,906,307口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,057円

(注) 当ファンドの期首元本額は436,053,084円、期中追加設定元本額は34,636,551円、期中一部解約元本額は41,783,328円です。

(注) 2025年10月14日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・アジアリートファンド(毎月分配型)	1,625,705円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	42,240,292円	・全世界超分散株式ファンド	1,451,771円
・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)	33,158,876円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,266,581円
・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジなし・毎月分配型)	24,353,849円	・アジアREITオープン(毎月分配型)	859,538円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マナープールファンド)	11,094,146円	・エマージング・プラス・円戦略コース	550,392円
・エマージング・プラス(マナープールファンド)	9,837,087円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	311,388円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	7,615,170円	・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)	293,617円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	5,774,595円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	240,262円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	5,629,859円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	5,510,261円	・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジなし・年4回分配型)	23,544円
・世界標準債券ファンド	4,835,693円	・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジあり・年4回分配型)	22,311円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	4,751,226円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	4,746,016円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・グローバル株式トップフォーカス	4,366,021円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバルCOC債ファンド(為替ヘッジなし・1年決算型)	3,880,920円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・DC世界株式・厳選投資ファンド	3,465,233円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・インド株式フォーカス(奇数月分配型)	2,520,790円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	2,517,156円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	2,376,905円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,066,554円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,944,657円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,774,182円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円

(注) 1口当たり純資産額は1.0057円です。

○損益の状況

(2024年10月16日～2025年10月14日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		743,589
	受取利息		743,589
(B)	有価証券売買損益		690,355
	売買益		759,798
	売買損	△	69,443
(C)	当期損益金(A+B)		1,433,944
(D)	前期繰越損益金		1,002,224
(E)	追加信託差損益金		129,505
(F)	解約差損益金	△	135,610
(G)	計(C+D+E+F)		2,430,063
	次期繰越損益金(G)		2,430,063

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2024年10月16日から2025年10月14日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第45条)
 - ③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第47条)